

## 「次世代型宇宙港ワーキンググループ（第2期）」への参画について

株式会社オリエンタルコンサルタンツ(所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則)は、将来宇宙輸送システム株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役 畑田 康二郎 以下 ISC)が主催する、宇宙輸送サービスの実現に必要な「次世代型宇宙港 (NSP : New Space Port)」の在り方を検討するワーキンググループに参画します。



近年、宇宙産業は我が国の成長戦略の一つとして位置付けられており、再使用型ロケットや有人宇宙輸送システムの実現に向けた取組が加速しており、WG を主催する ISC は、宇宙空間を経由した2地点間高速輸送 (Point to Point, P2P) として、地球上のあらゆる場所に1時間で移動できる世界の実現を目指しています。こうした宇宙輸送の高頻度化・日常化が進む将来において、宇宙輸送を支える拠点となる「次世代型宇宙港」は、単なる打上げ・着陸施設にとどまらず、産業、観光、防災、エネルギー、教育、研究利用など多様な機能を備え、地域と産業を結びつける新たなインフラとして期待されています。

今回参画するワーキンググループは、次世代型宇宙港の実現に向けて、第1期で策定したコンセプトを土台として、以下の3つのテーマで検討を進められる予定です。

- (1) 陸上・洋上の各機能設備および各課題のさらなる検討
- (2) 収益創出や資金循環を促進する新たなビジネスモデルの検討
- (3) 実証プロジェクト具体化に向けた調査・準備

当社はこれまで、全国の自治体において、都市・地域計画、交通・インフラ整備、官民連携、地域活性化など、多様な地域経営支援に取り組んできました。こうした知見を活かし、宇宙港を地域に根差した社会インフラとして位置付け、その整備効果や地域との共創のあり方、周辺産業の創出などの観点から検討に参画してまいります。

また、宇宙港の実現は、宇宙産業の発展のみならず、新たな地域産業や雇用の創出、交流人口の拡大、先端技術の集積など、地域の持続的な成長につながる可能性を有しています。

当社はワーキンググループへの参画を通じて、宇宙と地域をつなぐ新たな社会基盤の構築に貢献してまいります。

## 【参画するワーキンググループ概要】

名称：次世代型宇宙港（NSP：New Space Port）ワーキンググループ 第2期

主な検討内容：

- （1）陸上・洋上の各機能設備および各課題のさらなる検討
- （2）収益創出や資金循環を促進する新たなビジネスモデルの検討
- （3）実証プロジェクト具体化に向けた調査・準備

参加機関：

<参加企業（12社）／五十音順>

- 1.エア・ウォーター株式会社（継続）
- 2.株式会社オリエンタルコンサルタンツ（新規）
- 3.鹿島建設株式会社（継続）
- 4.JFE エンジニアリング株式会社（継続）
- 5.株式会社商船三井（継続）
- 6.常石ソリューションズ東京ベイ株式会社（継続）
- 7.東洋エンジニアリング株式会社（新規）
- 8.能美防災株式会社（継続）
- 9.パシフィックコンサルタンツ株式会社（継続）
- 10.三井住友建設株式会社（継続）
- 11.三井不動産株式会社（継続）
- 12.三菱倉庫株式会社（継続）

<参加大学（1大学）>

- 13.国立大学法人 室蘭工業大学（継続）

<幹事・主催企業> 将来宇宙輸送システム株式会社

<事務局> 株式会社日本総合研究所

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL:03-6311-7551 FAX:03-6311-8011

URL:<https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・日原・丸山・門司